



被災地企業 コラボレーション商談会開催報告

12月13日(木)に、盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING」で、「被災地企業コラボレーション商談会」が、(公財)東京都中小企業振興公社の主催により開催されました。

この商談会は、被災地企業の支援を目的に、首都圏等の発注企業と、岩手・宮城・福島県の3県の受注企業とのマッチング機会を提供しようと、昨年に引き続き開催されたものです。昨年の開催では、13件で当初取引額8,880万円の成約があり、被災県にとって非常に大きな成果を得られたと感じております。

今回は、食品を扱う商社3社に初めて参加頂くなど発注企業が77社、受注企業が160社(本県から116社)参加し、577件の商談が行われ、昨年を上回る大規模な商談会となりました。受注企業は、製品サンプルを持参し積極的に商談する場面も見受けられ、熱気にあふれるものとなりました。

今回は、9月5日の宮城県での開催に引き続き行われたもので、今回は、3月7日(木)に福島県郡山市で行われる予定です。詳細は、東京都中小企業振興公社のホームページでご確認下さい。



Embedded Technology 2012 組込み総合技術展に出展

組込み技術の専門展示会である「組込み総合技術展 2012(ET 2012)」が平成24年11月14日(水)・15日(木)・16日(金)の3日間、パシフィコ横浜(横浜市)にて開催され来場者は22,813人を数えました。うちTOHOKUパビリオンには3日間で5,851名の方に来場いただきました。

今年で7回目の出展となる「TOHOKUパビリオン」は東北6県の32企業・団体が出展。当県からは(株)イーアールアイ(有)エポテック(株)ピーアンドエーテクノロジーズ・アイエスエス(株)・(株)ジェーエフピー(株)新興製作所の計6ブース出展し、最新の技術・製品をPRしました。

各社から具体的な商談ができたという報告があり、今後の折衝に期待が持たれます。

- (株)イーアールアイ(盛岡市)
出展製品:SMART RINGシステム
(スマートフォンとつながる組込機器 屋内位置情報 配信システム・スマートフォンアプリケーション)
- (有)エポテック(盛岡市)
出展製品:エネルギー管理システム(xEMS)
- (株)ピーアンドエーテクノロジーズ(盛岡市)
出展製品:CAN/LIN通信シミュレータ・モニタVICSIM(ヴィクシム)
- アイエスエス(株)(滝沢村)
出展製品:組込マイコンボードを利用したDCモータとステッピングモータの多軸シーケンス制御
- (株)ジェーエフピー(盛岡市)
出展製品:仕様書完成度アップツールSP EC-L-PERFECT
- (株)新興製作所(花巻市)
出展製品:エア搬送システム・媒体ハンドリング技術

この催しは、「(社)組込システム技術協会」が主催したもので、日本が世界をリードする「機械装置等へのプログラム組込み技術」について、最新技術を紹介する展示会です。

組込み技術は本県の重要な産業の一つであり、いわて産業振興センターでは今後も県とともに支援してまいります。

「いわて環境と人にやさしい 次世代モビリティ開発拠点地域」フォーラム

岩手県では、大学等の研究機関や企業など産学官金が一体となって、持続的に自動車産業のイノベーションを創出する「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」の構築を目指しています。

この一環として本構想の概要を紹介し、次世代自動車の開発動向や技術動向等の講演などを行う「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点地域フォーラム」を、昨年11月26日(月)、盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催しました。

フォーラムでは、本地域での事業概要や研究概要について、久郷プロジェクトディレクターから、岩手大学など各参画機関から取り組みの概要について説明を行い、併せて広域連携先の宮城県プロジェクト「次世代自動車開発拠点宮城県エリア」について中塚プロジェクトディレクターからご紹介いただきました。

また、特別講演として、トヨタ自動車東日本株式会社 技監の五月女様から「東北自動車産業と次世代自動車の方向性」について、記念講演は、ボッシュ株式会社 セネラルマネージャーの今関様から「欧州から見たハイブリッド・電気自動車の最新技術と将来動向」について、地域企業を代



表して株式会社ニュートン 代表取締役社長 田面木様から「我が社の産学官連携による研究開発の取組みと大学等への期待」について、ご講演をいただきました。参加者からは、非常に貴重な講演で有益であったとの声が多く寄せられ、当地域の今後の取組みの参考となりました。

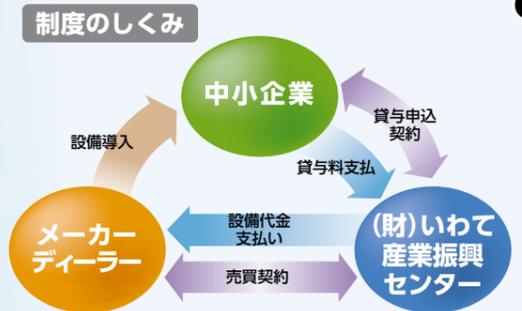
当日は、産業界から77名、大学関係者から59名、ほか金融機関・行政関係者等計216名の参加を得、フォーラム後の交流会でも今後の本プロジェクトの発展につながる活発な意見交換がなされ、情報発信・関係者の交流の場となりました。

このフォーラムを端緒として、地域企業の皆様並びに、大学等の研究機関や行政機関、産業支援機関との一層の提携を進めながら、「次世代モビリティ開発拠点」構築に向けた様々な取組みを進めてまいります。

設備貸与制度のご案内

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が機械・設備導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して低利で割賦販売またはリースをする公的制度です。

長期 5~10年 **低利** 年利1.95% **無担保** 金融機関の借入枠とは別枠です



| 区分 | 設備貸与(割賦販売) | リース |
|--------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 対象企業 | 県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む) | 従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は35人以下) |
| 貸付期間 | 原則5年または7年※1 | 原則5年または7年 |
| 貸付限度額(消費税含む) | 100万円~8,000万円※2 | 100万円~8,000万円 |
| 対象設備 | 設備(建物を除く) | 汎用設備(車輛を除く) |
| 保証金 | 貸与額の10%(最終償還時に返済) | — |
| 利息(貸与損料)リース料 | 年1.95%※2 | 5年=1.837% 7年=1.360% |
| 連帯保証人 | 法人:代表者含む2人以上 個人1人以上 | — |

(※1、※2)以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000 / ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)~(6)に該当する企業でも可

(※2)東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

最長10年、措置期間2年利息1.85%で貸付可能です。

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

お問い合わせ | 総務・金融グループ ☎019-631-3821 FAX019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi